



洗浄調製を行う二次製剤 (照射) 洗浄赤血球液-LR「日赤」及び照射洗浄血小板-LR「日赤」について

(照射) 洗浄赤血球液-LR「日赤」



有効期間：製造後48時間

【用途】発熱反応、アレルギー反応（蕁麻疹、掻痒感、呼吸困難、血圧低下等）又はアナフィラキシー反応といった、血漿タンパク質が原因となる輸血副作用の発現を軽減するために使用されます。

【調製方法】全血献血由来の（照射）赤血球液-LR「日赤」を原料として製造を行います。
（照射）赤血球液-LR「日赤」に生理食塩液を添加し遠心を行い、上清を除去した後、再び生理食塩液を添加します。この調製によって、含まれている血漿成分の約90%が除去されます。

【算定容量】(Ir-)WRC-LR-1: 140mL、(Ir-)WRC-LR-2: 280mL

照射洗浄血小板-LR「日赤」



有効期間：製造後48時間
(ただし、採血後4日間を超えない)

【用途】発熱反応、アレルギー反応（蕁麻疹、掻痒感、呼吸困難、血圧低下等）又はアナフィラキシー反応といった、血漿タンパク質が原因となる輸血副作用の発現を軽減するために使用されます。

【調製方法】成分献血由来の白血球除去した血小板濃厚液を原料として製造を行います。
血小板濃厚液に放射線を照射し、血小板保存液（ACD-A液及び重炭酸リンゲル液を約1対20で混合したもの）*を加えて洗浄を行い、再び血小板保存液を加えた製剤です。この調製によって、含まれている血漿成分の約99%が除去されます。

* ACD-A液	血液保存液の一種。クエン酸水和物、クエン酸ナトリウム水和物及びブドウ糖を注射用水に溶かしたもの。
重炭酸リンゲル液	リンゲル液の組成の他に塩化マグネシウム、炭酸水素ナトリウム、クエン酸ナトリウム水和物を含み、生理食塩液やリンゲル液より更に細胞外液に近い組成の輸液剤。

【算定容量】200mL

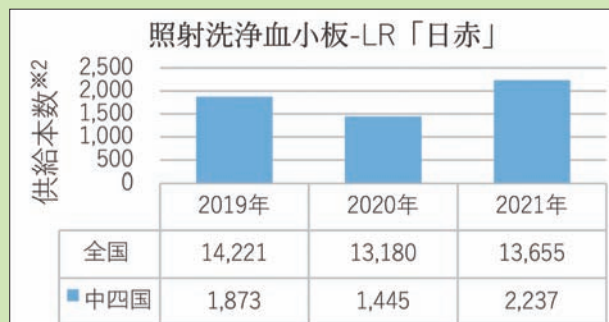
〈照射洗浄血小板製剤のご使用について〉

「血液製剤の使用指針」（平成31年3月25日薬生発0325第1号）の「IV 血小板濃厚液の適正使用、7.使用上の注意点 8) ABO血液型が不一致の輸血、9) 洗浄・置換血小板の適応およびその調製」に沿って適正に使用することが求められております。また厚生労働省保険局より本製剤の使用が必要であると判断した理由を診療報酬明細書の摘要欄に具体的に記載することが地方厚生局宛に通知されておりますので、使用に際しましては十分ご留意いただきますようお願いいたします。

(照射) 洗浄赤血球液-LR「日赤」及び照射洗浄血小板-LR「日赤」の各年における供給状況



※1 (Ir-)WRC-LR-1及び(Ir-)WRC-LR-2の本数の合算。



※2 照射洗浄血小板HLA-LR「日赤」を含む。

【(照射) 洗浄赤血球液-LR「日赤」】及び【照射洗浄血小板-LR「日赤」】は予約製剤です。予約等の発注に関することにつきましては、各県赤十字血液センターの学術情報・供給課までお問い合わせください。

(中四国ブロック血液センター 製剤課 田村優実 西井詩保)



「救いを託されている」赤十字看護師として

赤十字血液センター看護師は、献血者の皆様から頂いた「命のバトン」である血液を安全に採取する役割を担っています。と同時に、災害時は救護班やこころのケア班での被災地活動も任務の一つとなっています。5月18日、中四国ブロック内血液センターの看護師を対象に災害看護論研修を開催いたしました。

災害看護師に求められる役割、被災者の方々のこころの理解について講義し、避難所で役立つ実技研修では毛布1枚とストッキング、洗濯ばさみを使って暖かく安全に過ごせる「毛布ガウン」、被災者のこころを癒やす「リラクゼーション」や「ハンドマッサージ」、避難所で遊びを通して子ども達のこころを癒やす「ハンカチ遊び」等を行いました。救護技術については傷病者の観察と手当の実技を実施しました。



3時間のWEB研修でしたが、参加者からは「災害時に自分に何ができるのか考えるきっかけになった。」「人を癒やす事について考えさせられた。現場でも考えながら行動したい。」等、多くの学びを得ることが出来たといった感想をいただきました。

今年度の日本赤十字社のスローガンは「救いを託されている」です。赤十字血液センター看護師も災害時には「救いを託されている赤十字看護師」として被災地の方々の為に尽力出来るよう、災害時看護の知識と技術の研鑽に努めています。

山口県赤十字血液センター採血課 沖智子
(日本赤十字社 健康生活支援講習・幼児安全法講師 救急法指導員)